

TOYAMA

TEXTILE & FASHION
2023

未来をつくる とやまの繊維



JFW JAPAN CREATION 2023 実施報告書

2022.11.30

開催概要

- 名称/JFW JAPAN CREATION 2023
- 会期/2022年11月1日(火) 10:00~18:00
11月2日(水) 10:00~18:00
- 会場/東京国際フォーラム ホールE-1(B2F)
- 主催/一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構
- 後援/経済産業省、中小企業基盤整備機構、日本貿易振興協会、
日本アパレル・ファッション産業協会、日本繊維輸入組合、
日本繊維輸出組合



出展概要

- 名称/TOYAMA TEXTILE & FASHION 2023
- 会場/JAPAN CREATION 2023会場内
ブース:J48(間口12m×奥行4m/48㎡)
- 主催/一般社団法人 富山県繊維協会
- 後援/富山県、高岡市、小矢部市、南砺市、砺波市、射水市
- 出展者
 - ◇企業展示
(株)今井機業場、エフアイニット(株)、小矢部繊維工業(株)、
(株)カジメイク、川田ニット(株)、ケーシーアイ・ワープニット(株)、
(株)ジェイコム、(株)スズニット、(株)ゼフィール、東レ・テキスタイル(株)、
西川産業(株)、日本キャンバス(株)、丸和ケミカル(株)、(株)ミヤモリ、
(株)ランブール
 - ◇特別展示
(株)ゴールドウイン

事業概要

～未来をつくる とやまの繊維～

■展示テーマ

富山県の繊維は、長い歴史と培われた技術を保有し「高機能繊維・生活提案型衣料・ヘルスケア繊維」などグローバルな視野で開発したテキスタイル&ファッションの総合力が強み。JC2023はその総合力に加え、地球環境やサステナブルな活動に配慮し、子供たちの未来の為、優れた「技術力+機能性」×「提案力+デザイン性」で社会のニーズにこたえます。

■展示内容

○富山繊維産地紹介、富山県PRコーナーを設置

合同ブース内に富山繊維産地紹介コーナーを設置し、大型スクリーンで会員企業の紹介や富山県の魅力をPRした。また、IoTを活用したダッシュボードを設置しセンサーによる来場者の通行量やAIを用いたブース内人数表示を行いDX化のアピールを行った。併せて、コロナ禍の為、近年実施しなかった来場者アンケートを、QRコードを使いお客様のスマートフォンから回答できるように電子化して実施した。また、富山繊維産地のサステナブル取り組みPRとして、服を作る過程で出る生地片を中わたにアップサイクルし、消臭機能を付加した 元気とやまマスコットを制作しアンケート促進を図った。





※IOT活用によるダッシュボード



※大型スクリーンによる企業紹介と富山県のPR



※富山マップとアップサイクルPR



富山県繊維協会
来場者アンケート

本日はご来場いただき有難うございます。
来場者アンケートにご協力お願いします。
アンケートにお答えいただいた方に、
オリジナルマスコット（数量限定）を差
上げます。



豊かな社会、快適な生活を目指して
一般社団法人富山県繊維協会



※アンケートの電子化



○企業展示

会員企業16社が参加。各社が自社の強みを生かした新商品・技術の展示説明を行った。テーマであるサステナブル(持続可能)に対応したリサイクル原料を使用した商品や着心地に着目した高機能テキスタイル、水を使用しない昇華プリント生地並びに熟練の職人によるカシミアを使ったオーダーメイドで高感性な横編ニット製品などを紹介した。また、自然由来の富山県産はとむぎエキスをういたウエアや化粧品なども紹介した。企業紹介や商品紹介はパネルにOMO展開の事例として、展示品にQRコードを掲示し、それを読み込むことでお客様のデバイスで自由に見れるよう展示のスマート化を図った。



○特別展示

(株)ゴールドウインから、ファッションロス・ゼロを目指すための取組みとして不要になった子供服を買取り、修理して販売するサステナブル・レーベル『GREEN BATON』を紹介した。



広告宣伝 / 制作ツール

■案内状(A4サイズ三つ折り)

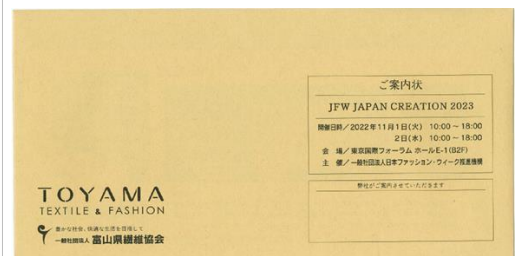


※展示会開催案内として上記DMを作成し、各出展企業より顧客先へ配布し誘客を図った。

■事前登録案内チラシ(A4サイズ三つ折り)



■案内状・事前登録案内チラシ用封筒



※昨年度に続きコロナ禍の為、WEBによる完全事前登録制対応として、DMに併せて事前登録案内チラシを作成し配布した。封筒は、環境配慮のため再生紙封筒を用いた。

■会場案内用パンフレット



※会場案内用パンフレットを作成し配布した。

■元気とやま きときと君配付(アンケート促進)



新聞記事

■富山新聞【北陸経済面】11月2日(水)



環境配慮の製品発表
都内で繊維見本市

富山、石川から出展

富山県繊維協会や石川県内の織物組合などは1日、東京・丸の内での東京国際フォーラムで始まった国内最

ゴールドウインの取り組みを紹介するブース

大級の繊維総合見本市「JFWジャパン・クリエーション」に出展し、環境に配慮した製品を発表した。小矢部市に生産拠点を置くゴールドウイン(東京)は、不要になった子供服を買い取り、修理して新製品として販売する取り組みを紹介。8日にオープンする東京・恵比寿ガーデンプレイスの店舗で販売を始める

と発表した。富山県内から16社が参加し、県繊維協会長も務める西田明男会長は「持続可能な社会に向けた各社の創意工夫を知ってほしい」と話した。石川県内からは県織物構造改善工業組合、小松織物工業協同組合、加賀市織物協同組合、かほく市商工会、中能登町商工会繊維業部会などが参加した。

■北日本新聞【とやま経済面】11月2日(水)

県繊維協技術PR
都内見本市に出展
県繊維協会(西田明男会長)は1日、東京・丸の内での東京国際フォーラムで開



幕した国内最大級の繊維見本市「JFWジャパン・クリエーション2023」に出展し、県内企業16社が自社の製品や技術をPRした。写真は2日まで。テーマは「未来をつくるとやまの繊維」。サステ

ナブル(持続可能)に対応した商品や高機能布地を紹介し、自然由来のハトムギエキスをういた商品や水を使わず環境に優しい「昇華プリント」の生地などが並んだ。各社が自社の強みを生かした商品もそろえ、しわがでにくいニット商品や老犬の健康をサポートする服などを紹介。ゴールドウインは古着を利活用した子ども服を展示した。県内の高い技術力の発信を目的に毎年出展。今回は全国261社が参加している。

■織研新聞11月15日(火) (出展企業掲載例)

2022年(令和4年)11月15日 火曜日 素材・製造・商社 (4)

23年秋冬のテキスタイルトレンドで、クラシックのキルトが復活している。英国調テキスタイルで代表されるマルチタスクなテキスタイルに、素材開発の考え方が変わった。目の配あるサンダルや過去の資料から活用されているものを再見直し、今の時代に合わせたアレンジした素材が新鮮に映る。

不採用品に向き合う
経編メーカーの今井機業場(富山県南砺市)は、トリコットの進化を目指し、「トリコット」を打ち出した。「言われた物を作る」「任せられた仕事をこなす」とはできるが、もともとの「いい」といってできないか、という角度で開発した。これまで開発は継続してきたが、過去に提案して採用しなかった事例を振り返り、不採用の理由を考えながら

日本素材の強さ PTJ23年秋冬、JFW-2023 から

時代に合わせてアップデート
それをクリアし物作りを始めた。機織のつばはセッターアップサンダルを見せ、た「エアリーナイ」編み組(リナ)機織、リナ織のふでドット状の目が空いた高透気素材だ。従来の「ニットの特性であるドライ」性により、肌にまとわりつかず、さわやかな感覚がある。これを弊社の選定を見直してハリコシを出した。天然調では、天然調を開発、薄起毛のまっさらな起毛をかけたおろす、糸や編み組織で表

高透気素材「エアリーアイ」はハリコシを出して着心地を改善(今井機業場)発、薄起毛のまっさらな起毛をかけたおろす、糸や編み組織で表

現た、このほか各種テキスタイルも出した。

富山県繊維協会出展企業



川田ニット(株)・ケーシーアイワープニット(株)

(株)スズニット エフアイニット(株) (株)ジェイコム (株)カジメイク
丸和ケミカル(株)



(株)ミヤモリ (株)ランブール 小矢部繊維工業(株) 日本キャンバス(株)
東レ・テキスタイル(株)
(株)ゼフィール



西川産業(株)



(株)今井機業場



(株)スズニット 丸和ケミカル(株) エフアイニット(株)
(株)ジェイコム (株)カジメイク



(株)スズニット



丸和ケミカル(株)



日本キャンバス(株)
東レ・テキスタイル(株)
(株)ゼフィール



日本キャンバス(株)



東レ・テキスタイル(株)

商談風景



展示会場風景

